

# 令和8年嵐山町農業委員会 第1回総会議事録

## 1. 開催日時

令和8年1月26日（月）午前10時30分～午前11時00分

## 2. 開催場所

嵐山町役場 302・303会議室

## 3. 出席委員（出席者7名）

第1番 内田 久子 第3番 杉田 哲 第4番 杉田 健一

第5番 安藤 紀子 第6番 番場 邦男 第7番 金井 敏隆 第8番 青木 美恵子

## 4. 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について

日程第5 議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について

## 5. 農業委員会事務局職員

事務局長 中村 寧

事務局次長 内田 雅幸

主 事 高田 遼太郎

議長	( 総会招集あいさつ )
議長	それでは、総会を始めたいと思います。 ただいまの出席委員は <u>7名</u> であります。
	嵐山町農業委員会 会議規則第6条の規定による、 定足数に達しております。
議長	よって、令和8年嵐山町農業委員会第1回総会は成 立しました。
	これより開会します。
議長	日程第1 議事録署名委員の指名を行います。
	議席番号 第8 青木 美恵子 委員
	議席番号 第1 内田 久子 委員
	議席番号 第4 杉田 健一 委員
議長	以上、3委員を指名します。

議長　　日程第2　会期の決定を議題とします。

会期は、本日一日限りとしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(異議なし)

議長　　ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日一日限りと決定しました。

議長　　日程第3　諸般の報告をします。

初めに、農業委員会第1回総会に提出されました議案について、報告します。議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について1件、議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について1件、合計2件です。

議長　　次に、提出議案一覧表及び議事日程は、すでにお手元に配付しておりますので、ご了承願います。

- 議長 以上で、報告を終わります。
- 議長 続きまして、日程第4 議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請についての件を議題とします。本案について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について、説明いたします。
- 事務局 申請地は、比企郡嵐山町大字○○字○○○△△△番、地目：田、面積：941m<sup>2</sup>です。
- 事務局 託受人は、比企郡嵐山町大字○○△△△△番地氏名A氏です。
- 事務局 託渡人は、比企郡嵐山町大字○○△△△△番地△氏名B氏です。

事務局	申請理由は、農地の取得、権利関係は、所有権移転です。
事務局	当申請について、譲受人が今まで耕作していた農地ですが、地権者の体調不良が長く続いており、農地を売りたいとの相談があり、このたび売買条件が整ったため、今般の申請に至ったとのことでございます。
事務局	それでは、3条の許可要件に沿って説明をさせていただきます。
事務局	全部効率利用要件：所有している農地についてはすべて適正に利用されており、今般の申請地においても既に耕作されております。今後も営農計画書のとおり、農業に従事すると思われるので、問題ないと思われます。
事務局	農業常時従事要件：営農計画書のとおり、年間90日程度、農業に従事すると記載されておりますので、

事務局	問題ないと思われます。
事務局	地域との調和要件：譲受人は、地域計画の農業を担う者に位置付けられており、本計画の達成や周辺農地の集団化、農作業の効率化には支障はないと思われ、周辺地域の環境の整備や改善についても地域の取り決めを遵守する旨の記載があるため、問題ないと思われます。
事務局	以上、3条許可に必要な要件は満たしていると思われます。以上です。
議長	ありがとうございました。 ただいまの事務局の説明につきまして、質疑を行います。
議長	どうぞ。 (質疑なし)

議長 質疑を打ち切ります。ここで、先に調査会を開き、現地調査をしておりますので、その報告を第4班金井委員、お願いします。

金井委員 議案第1号について、調査報告をいたします。1月19日の農地調査会にて、申請地を調査してまいりました。申請地はこれまでも申請者が耕作しており、周辺農地への影響は少ないと思われるため、許可妥当と判断いたします。

議長 ありがとうございました。  
それでは、議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について採決します。

議長 本案を、許可することに賛成の委員の挙手を求めます。

議長 挙手 全員

議長 よって、議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について、許可することに決定しました。

議長 続きまして、日程第5 議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請についての件を議題とします。本案について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について、説明いたします。

事務局 申請地は、比企郡嵐山町大字○○字○○△△△△番△、地目：畠、面積：875m<sup>2</sup>です。

事務局 請受人は、東京都千代田区○○○○○△丁目△△番△○○○○○○○○○△階 株式会社○○○○代表取締役 氏名C氏です。

事務局 謙渡人は、比企郡嵐山町大字○○△△△番地△  
氏名D氏です。

事務局 転用目的は、蓄電池用地です。

申請者はこれまで再生可能エネルギー発電事業に  
携わってきた事業者として、発電のみならず、電力系  
統全体の安定化に資する分野へ事業領域を拡大する  
ことが、社会的な責務であると判断し、系統用蓄電池  
事業に取り組むに至りました。申請者にとって初めて  
の蓄電池設備になるとのことですが、これまで培って  
きた再生可能エネルギー事業の知見や電力会社との  
調整経験を活かし、技術的知見を有する協力会社と連  
携のうえ、適切な体制を構築して事業を実施する計画  
とされています。また、申請地は、嵐山変電所に比較  
的近接しており、系統接続の観点から合理性の高い立  
地であることや周辺土地利用との調和が図られると  
いった理由からいくつかの候補地から当該農地を選  
定し、申請に至ったとのことです。

事務局	それでは、埼玉県知事に進達する意見書の許可基準に沿った、説明をさせていただきます。
事務局	工事計画：許可日から令和8年10月1日までです。
事務局	農地区分：当該農地は、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であるため、第2種農地に該当します。
事務局	資力及び信用：過去に違反転用はなく、資金調達計画書や残高証明書が添付されているため、問題ないと思われます。
事務局	申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性：許可後、すぐに着工し、遅滞なく行われると思われます。
事務局	行政庁の免許、許可、認可等の処分の見込み：土地

事務局	の造成の関係で、環境課とも協議を行っており、引き続き、適切な指導をしていくとのことです。
事務局	計画面積の妥当性：必要最低限の面積を許可基準としております。周辺の状況等を考えたなかで、やむを得ないと考えます。
事務局	周辺の農地等に係る営農条件や総合的利用への支障の有無：隣接農地への営農条件や総合的な利用に支障はないと思われます。
事務局	尚、転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意の有無、農地以外の土地の利用の見込み、宅地の造成のみを目的とする場合にはその妥当性、一時転用である場合にはその妥当性、法令により義務付けられている行政庁との協議の進捗状況については全て該当しません。以上です。
議長	ありがとうございました。

議長	ただいまの事務局の説明につきまして、質疑を行います。
議長	どうぞ。 (質疑なし)
議長	質疑を打ち切ります。ここで、先に調査会を開き、現地調査をしておりますので、その報告を第3班青木委員、お願いします。
青木委員	議案第2号について、調査報告をいたします。1月19日の農地調査会にて、申請地を調査してまいりました。当該農地は、過去より遊休化している農地でもあり、周辺農地に影響はないと思われる所以、許可妥当と判断いたします。以上です。
議長	ありがとうございました。 それでは、議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について採決します。

議長 本案を、許可することに賛成の委員の挙手を求めます。

議長 挙手 全員

議長 よって、議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について、許可意見を付して埼玉県知事に進達することに決定しました。

議長 これにて、本総会に付議されました案件の審議は全て終了しました。

議長 以上をもちまして、令和8年嵐山町農業委員会第1回総会を閉会します。

議長 お疲れ様でした。

上記会議のてん末に相違ないことを証するため、議長及び委員の署名をする。

議 長

杉田 哲

委 員

青木 美恵子

委 員

内田 久子

委 員

杉田 健一